**11月7日　株式会社キーストーンテクノロジー　代表取締役 CEO　岡崎　聖一　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

現時点において、人工光型植物工場は日本がトップランナーである、ということを初めて知り、驚き、誇りに思った。また、「作業ができる人間ではなくて、仕事ができる人間になってほしい」という言葉が印象に残った。仕事というのは、解決すべき問題に答えを出すことであり、課題が与えられた場合にその答えを出すという問題解決力は大事ではあるが、企業でも、個人でも、今求められていることは、解くべき課題を見つけ出す能力であるということを学んだ。大学在学中にしっかりと学び、自分を高めていきたい。（経済学部　経済学科　1年）

起業という行為そのものがこれからの社会で求められるリベラルアーツ的な知識、能力を生かす考え方を応用する仕組みであり、枠組みにとらえられることのない学習習慣の延長線上に企業があるのではと考えた。そして、学習で得られた多種多様な知識と自らの経験や生活上の気づきで得られる先を見通す力がうまく融合して初めて、逆に言えばその2つが融合したときにはすでにビジネスチャンスが発生していると思った。起業ありきであれ企業への道筋を考える機会がこれからの世界を生き抜くうえで求められる能力を大きく向上させるのだなと思った。(経済学部　1年)

様々な企業の特許に阻まれて開発を断念せざるを得ない状況になってもあきらめず、１つの論文からヒントを得てLED独自開発につながった、というのは本当にすごいと思った。成功するかわからない事業をするために大学院で植物を学ぶ。並大抵の行動力ではできないことだな、と思った。尊敬したい。

（経営学科　経営学部　１年）

植物工場というものは知っていたけど、今日の講義を聞いて、これからの時代には、定時・定量・定品質・定価の4定条件を満たす植物工場生産野菜が必須であると思いました。少し高いかもしれないけれど、栄養価が高く、無農薬でエコ栽培であるのは非常に魅力的だと思い、買ってみたいと思いました。このような野菜は消費者の販売意欲を高めるものであると思います。元々植物や農業とは無縁の仕事をされていたにも関わらず、伝統的な製造業から“環境関連産業”へ移行すると考え、研究開発に挑戦し、このように事業革新に成功したのは本当に素晴らしいと思いました。これからの世の中で生きていくためには、人間がよく考えて、行動していかなければならないと強く感じました。貴重なお話ありがとうございました。（経営学部　経営学科　1年）

これからの時代を生き抜くためには、「リベラルアーツ」の考え方を持つという意見に賛成だ。岡崎さんが事業のために様々な機関で学ばれているということは生涯教育、また実学の良い例だなと感じた。また、植物工場で採れた野菜は即日出荷のため栄養の含有量が他のものより多いと知り面白いなあと感じた。農業に従事している人が高齢になったら、植物工場で働けば、経験が活かせ、国全体の農業生産量が増えると感じます。私の祖父母も農業を開いていましたが、引退は体の衰えとともにだったので・・・上手く国の流れに乗ることが重要(経営学部　１年)

スライド19ページ目にある株式会社キーストーンテクノロジー代表取締役CEO岡崎聖一氏の言葉「21世紀を背負って立つ皆さんは一つの専門性だけで安定的な生活ができると思ったら甘いです！グローバル化した社会では広範な知識を身に着ける『リベラルアーツ』が最強のサバイバルツールになります。」は印象に残りました。岡崎氏は、様々な専門性を持っているので、植物工場を作るにあたって、多角的な原点から研究・考察し、開発することが可能であり、成功する確実性が他のベンチャーよりもあったのではないかと感じた。(経済学部　1年)

元々植物や農業とは無縁の仕事をされていたのに、北米発ITバブルの崩壊により仕事が激減したことをきっかけに、エレクトロニクスをプラットフォームに環境問題の解決、食糧問題の解決に貢献できるような新規事業ドメインの構築を目指して研究開発に挑戦するという発想の柔らかさやスピード感、行動力が素晴らしいと思いました。事業革新において困難にぶつかるたびに勉強し施行されていて、素晴らしいと思いました。植物工場事業を生物学的考察、栄養学的考察、行動経済学的考察、マーケティング的考察等、様々な切り口から分析されていて、専門性の幅広さ、教養の幅広さに驚きました。「植物工場事業が儲からないのではなく、売るための仕掛けを作らず、安易に儲けようとするから事業に行き詰まる」という言葉が印象に残りました。（経営学部　１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

行動的になるコツである魔法の4分間ルールというものを学んだので、ぜひそれを今後自分の生活場面で利用していきたいと思う。例えば、私はレポートなどの課題を締め切り日の前日の夜など、追い込まれないとできない。しかし、このルールを利用して締切直前になる前に、4分間まず集中して課題に取り組もうと思う。 (経済学部　経済学科　1年)

多彩な学びの実践は必須だと感じた。ただやりたいことが不明確な現状では有益なものにするのは困難だろう。だから、出会う知識を蓄積するのはもちろん、「どう活かせるか」という今後の展望も踏まえて考えることでただの知識ではなく、有用なものにしえると気づいた。また、このような農業の台頭がどこかの農家を圧迫するかもしれない。それはそれで新たなビジネスチャンスの芽かもしれないので是非気にかけて行きたい。（都市科学部　都市共生学科　１年）

問1で書いたように、私は教育学部美術科専攻ですが、別の教科、また他学部についても少し勉強してみたいと思いました。岡崎さんのようにはじめから目的をもって別の分野を学ぼうというわけではないのですが、これから社会に出て、何十年も働いていくために自分の強み＋αの「＋α」の部分を増やしておくことが、大学4年間でやっておくべきことではないかと私は思うので、まず少しでも興味のある分野について調べてみようと思います。(教育学部　学校教育学科　1年)

**授業スタッフの感想**

他分野、広範囲に及ぶ知識が現代の社会を生き抜くのに必要だというリベラルアーツをよく知っておきたい。多角的な視点を持って事にあたりたい。仕事ができる人間とは問題設定のできる人だという話があったので、ただ作業をするのにもそこにある意味、目的、そして矛盾を見つけられるようにしたい。